

すくすくだより

明照保育園

2014年2月号



「鬼は〜外」「福は〜内」！2月3日は節分です。節分は、立春の前日をさし、昔は立春を1年の始まりとしていたため、新年に福を呼ぶために邪気を払うという意味があるようです。さて、節分に食べると縁起が良いと言われる恵方巻きですが、皆さんは食べますか？今年の恵方は東北東のやや右らしいです。恵方巻きは、巻いてあるから「福を巻き込む」また、縁を切らないように丸かぶりするのが良いそうです。今年も一年健康に無事に過ごせるように、このような行事も大事にしたいものです。

いざというとき慌てないために知っておこう！「けいれん」

子どもは時々、けいれんを起こすことがあります。「けいれん」とは、発作的に筋が収縮運動をする状態を言います。手足をつっぱり、眼球を上に向けたまま歯をくいしばり、唾液を流し、意識がなくなるといった症状があります。

もし、お子さんが目の前でけいれんをおこしてしまったら、とてもびっくりし怖い思いをします。慌ててしまいがちですが、落ち着いて状態を観察し、冷静に対応するためにもけいれんについて知っておくと良いでしょう。

子どもに多い熱性けいれん

子どものけいれんの中で最も多く、高熱に伴って全身のけいれんを起こします。生後6か月～6歳の間、特に1～3歳の時に多く起こります。

【特徴】

- ・熱の上がり際に多く、突然意識がなくなり、白目をむいて体をそらせるように硬くしたり手足をがくがく震わせたりします。
- ・唇や顔の色が紫色に変わったり、手足を一緒に大きくピクン、ピクンと曲げることがあります。
- ・短くて30秒ほど、たいてい5分から30分以内には治まると言われています。

けいれんを起こしたら！？

時計を計る



顔を横に向け、嘔吐しても吐いた物が気管内に入らないようにする

衣服を緩める

NG

無理に口をこじ開けない！！

スプーンや割り箸などを入れると、かえって口の傷をつけてしまいます。

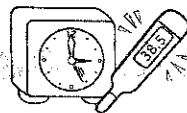
揺らしたり押さえつけたりしない！！

無理な力がかわり、筋肉を傷めることがあります。大声で叫んだり刺激を与えることもやめましょう。

☆観察ポイント☆

救急車を呼ぶかどうかの判断や、医師に症状を伝える時のポイントになります。

- どれくらいけいれんが続いているか（時間を計る）
- 熱はあるか
- 頭痛はあるか
- 手足が突っ張っているか
- どの部分がどのように動いたか、どんな姿勢や手足の形をとったか
- 意識や反応はあるか
- 顔色や目つきはどうか
- 嘔吐があるかどうか
- けいれんが終わってから意識が戻るまでの時間



こんなときはすぐに受診！！

1. けいれんが10分以上続く
2. 短時間にけいれんを繰り返す
3. けいれん後、意識が回復しないもの
4. 嘔吐を繰り返すもの
5. マヒや左右差がみられるもの（例えば、手足の力がなく動かない、顔がゆがむなどの症状がある場合）



けいれんを起こすととにかく慌ててしまいがちですが、ほとんどの熱性けいれんは数分以内でおさまるので、まずは「落ち着いて冷静に行動！！よく観察」が基本です。



2月の健診のお知らせ

★4か月児健診（受付 9:00～10:30）

毎週火曜日：4、18、25日

★1歳6か月児健診（受付 12:50～14:00）

毎週水曜日：5、12、19、26日

★3歳児健診（受付 12:50～14:00）

毎週木曜日：6、13、20、27日

場所：保健所・保健センター

（中野町字中原「ほいっぴ」内）

問合せ先：☎39-9153

※対象者の方には、ご自宅へ健診日の

1か月前に健診票を郵送します。

ご案内の日時に健診を受けてください。

